



第17図 本邦上高型降雨回数分布図 (69回)

143mm, 美濃では132mmを観測した。又1957年7月5日前線による雨は群馬県中部の赤城, 鼻ヶ石, 吾妻で夫々100mm近くを観測し, 富山県の雨の方は7月8日と20日の前線で降つたというような具合である。

降雨回数分布(第15図)の方が雨量のように1回で多量の雨があった場合, その1回のために全体にきいてくると違って, この型の時に降りやすい頻度を与えよう。しかし前線が本邦上のどここの場所に停滞か, その位置も決めないと本当の意味の結論とはいえない。しかし一面この結果は前線の停滞しやすい位置を示すともいえるよう

か。とにかくもっとも多い所は, 栃木県北部, 榛名山, 新潟と長野の県境, 富士山岳お部および埼玉県西部などとなっていた。

11. 本邦上高型の降雨分布

本邦を大きく高気圧が掩っている型を本邦上高型と分類したが, この型の時の降雨分布とは大体雷雨又は俄雨による降雨分布ということになる。

第16図によるともっとも雨量の多い所は榛名山を中心とした群馬県中部で, 次は矢板, 那須を結ぶ栃木県北部と都西部山岳, 上磐越国境, 伊吹山などとなっている。

第17図の降雨回数分布図をみると, この型の出現回数69回の中, もっとも多い所は, 上越国境の新潟県寄り, 那須地方の, 18, 19回であった。もっとも山の中の観測がもっと分ればこの回数はもっと多くなるであろうが, この図によると雨量の方ではもっとも多かった伊香保が15回とやゝ落ちたがやはり多く, 他は東京都西部山岳, 丹沢道志山塊, 富山県山岳部がやゝ多くなっていた。

以上を考えると雷雨(又は俄雨)はやはり山岳地帯で多く, 雨量も又多いといえそうである。しかし例外といえるものでもないわけではなく, 利根川中流沿いの区域で降雨回数, 雨量ともやゝ多い。これはこゝが雷の通路に当たっているためかも知れない。

気象の英語(22)

24. famous, celebrated, eminent, distinguished および prominent

“有名な”という意味を表わす英語は沢山あるが, A.C.D. などによると少しづつニュアンスが違ふ。一番一般的に使われるのは **famous** で, 長所などのために有名な物や人の時には **celebrated** を使う。たとえば a celebrated writer など。職業, 技術などで同時代の人にすぐれているために有名な場合などには, an eminent physician のように **eminent** が使われる。eminent にさらに, “多少とも一般に尊敬されている”という気持が付け加わる時は, a distinguished scientist のように **distinguished** が使われる。また, “指導的”, “重きをなす”という意味が加わる場合は **prominent** が使われるらしい。たとえば a prominent citizen など。

eminent も prominent もラテン語の現在分詞から来たもので, ラテン語の minere は “出張る, 突出する”

という意味, e は “外に”, pro は “前に” という意味を示す接頭語である。したがって, とともに “突出した” から, “目立った” になり, “有名な” となったのである。distinguished はラテン語の stingere = 分離する, に離す意味の接頭語 di のついたもので, “識別する, 見分ける”, という意味である。distinguished はこの過去分詞から形容詞になったもので, “見分けられる” から “目立った” になり, “有名な” になったのである。celebrate は “記念して祝う” 転じて “称讃する, 尊敬する” という意味で, この過去分詞から形容詞になった。celebrated は “称讃され現われる” から “有名な” になったのである。

これらの語はいずれも良い事で有名な場合に使うので悪いこと, 好ましくないことで有名な場合には notorious を使うことは前に述べた。